

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信

2017.9

Vol. 59

南東北グループ 医療法人財団 健貢会

総合東京病院通信 Vol.59

●平成29年9月発行

●編集・発行／総合東京病院

〒165-0022 東京都中野区江古田3-15-2

TEL. 03-3387-5421(代)

特集

障害者スポーツとリハビリテーション

リハビリテーション科
高橋 剛治

脳性麻痺七人制サッカー日本代表のチームドクターをつとめておりました。そして、Cerebral Palsy Football World Championships England 2015という大会に帯同いたしました。大会期間は2015年6月16日から6月28日で、派遣期間は2015年6月13日から6月30日、開催場所はイギリスでした。日本脳性麻痺7人制サッカー協会は、2016年に開催される



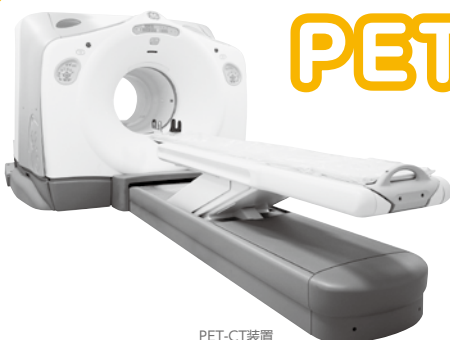
図1

リオデジャネイロパラリンピックの出場権獲得のため、脳性麻痺7人制サッカー日本代表を編成し(図1)、出場することにいたしました。この度の大会のことをClassificationといいまして競技を公平に行えるよう、麻痺の部位・程度が競技能力へ与える影響に基づき実施するクラス分けに関することも含めて解説させていただきます。なお、日本脳性麻痺7人制サッカー協会は日本CPサッカー協会と呼称を変更しております。

脳性麻痺7人制サッカー(CPサッカー)の対象となる選手は脳性麻痺、脳血管障害、外傷性脳損傷により、身体に麻痺を持つ人です。いわゆる脳性麻痺の選手だけが出場できるというわけではありません。

ルールです。基本はFIFAのルールに準じます。オフサイドルールは適用しません。片手でアンダースローインしてもよいのです。ピッチは70m×50mです。ゴールは5m×2mです。試合球は通常の5号球であります。つまり、ワールドカップやリーグでもワールドカップやリーグでも使っている球と同じです。試合時間は前後半合計60分であります。オフサイドルールは適用しません。

スペイン人の理学療法士であるクラス分



PET-CT装置

PET-CTがんドック予約受付中

「PET-CTがんドック」 ※総合東京病院の来院申込者

通常料金 108,000円 ➡ 優待料金 86,400円(税込)

※「脳検査」を追加の場合は、108,000円(税込)になります。

詳しくは、予防医学課へ

☎03-3387-5462

受付時間/月~土(日・祝除く)
AM 9:00 ~ PM 5:00

特集 障害者スポーツとリハビリテーション

け委員長にというスペインの雑誌に投稿した論文が渡されました。そこに記載があったクラス分け表を簡単にまとめてみました。

- FT5. 両下肢に麻痺があるが走可能
- FT6. 四肢に不随的な動きがあるが走可能
- FT7. 片麻痺
- FT8. 両下肢に麻痺があるが走可能 四肢に不随的な動きがあるが走可能 片麻痺 ただし、極めて軽度な麻痺

クラス分けは、競技を公平に行えるよう、麻痺の部位・程度が競技パフォーマンスへ与える影響に基づき実施されます。FT 5からFT8 まで4段階に分かれております。FT8が最も軽度ということになります。チームを構成する選手はこのクラス分けによって分けられ、試合中は必ずFT5またはFT6の選手が1人出場しなければなりません。いない場合は6人で試合をします。FT8の選手はピッチ上1名までしか出場できません。リオデジャネイロパラリンピック開催後は必ずFT5またはFT6の選手が2名以上出場しないとイケないというルールが正式なルールとなります。

6月14日に行われたクラス分けです。身体能力評価です(図2)。このような全チームのクラス



図 2

毎日発表されるクラス分けの情報 (クラス分けが確定していない選手分) 国際大会に2回出場するとクラス分けが確定

身体能力とサッカー RESI 試合観戦による評価		技術の評価								
Family Name	First Name	Country	DOB	Entry Class	Entry Status	Technical assessment	Game Status	Out Class	Out Status	
Adriana Lopez	Patric	Argentina	19/07/1995	F17	N	F17	CBS	F17	RPD-2021	
Coria	Mariano	Argentina	04/08/1995	F17	N	F17	CBS	F17	C	
Labrun	Mariano	Argentina	08/09/1995	F18	N	F18	CBS	F18	C	
AUSTRALIA										
March	Connor Patrick	Australia	19/03/1996	F17	N	F17	CBS	F17	C	
Parsons	Jason Michael	Australia	11/05/1996	F16	N	F16	CBS	F16	C	
James	Jackery Johann	Australia	11/04/1996	F18	N	F18	CBS	F18	B	
McClintock	Ryan	Australia	11/06/1995	F17	N	F17	CBS	F17	C	
McClintock	Kevin	Australia	08/03/1994	F18	N	F18	CBS	F18	C	
BRAZIL										
James Machado	Jonathan	Brazil	25/10/1992	F17	N	F17	CBS	F17	C	
Da Silva Gomes	Rafael Rafael	Brazil	11/06/1994	F17	N	F18	CBS	F18	RPD-2021	
Da Silva Magalhães	Thales	Brazil	11/11/1990	F17	N	F17	CBS	F18	B	
Martins da Souza	Wesley	Brazil	09/10/1989	F15	N	F15	CBS	F15	RPD-2021	
Orlando da Silva	Diego	Brazil	04/03/1996	F17	N	F17	CBS	F17	C	
Da Silva	Roberto	Brazil	21/09/1994	F17	N	F17	CBS	F17	C	
JAPAN										
Yoshida	Yoshitaka	Japan	11/02/1991	F15	N	F15	CBS	F15	C	
Yoshida	Yoshitaka	Japan	11/11/1997	F17	N	F18	CBS	F17	RPD-2021	
Yoshida	Shota	Japan	20/11/1996	F17	N	F17	CBS	F17	C	
Yabumoto	Hayato	Japan	04/06/1994	F17	N	F17	CBS	F17	C	

図 3

分け結果(図3)が毎晩、大会本部からおくられてきます。今回の大会では、日本の選手は4人の選手がクラス分けの対象でした。先ほど画像でおみせした選手は身体能力とサッカー技術の評価ではFT8となりましたが、猛抗議の末、初戦のイングランド戦の観戦評価ののちFT7となりました。

開幕戦はそのウェンブリースタジアムのレプリカピッチで行われ、British Broadcasting Corporation つまり、BBCつまり、英国放送協会で放映されました(図4)。イングランドの5番の選手は以前バーミンガム・シティFCでプレーしていた選手で、交通事故で頭部外傷を負ったため出場資格を得たそうです。下肢に麻痺は軽度に見えました。そのイングランドでさえ5位という結果でした。

優勝はロシア、準優勝はウクライナ、3位はブラジルでした。リオデジャネイロパラリンピックへの8か国の出場権はこの大会の結果が目安だそうです。日本は4戦全敗で、イランが不出場だったため、16の国と地域のチームの中で15位ということになりました。

イギリスにおいては、CPサッカーの取り組みが充実しておりました。複数の方法を用いてクラス分けが行われており、試合における機能の評価していました。なお、2020年東京オリンピックの採用種目は、2015年1月31日にアブダビで開催されたIPC理事会で採用された22競技種目が最終決定ですが、脳性麻痺7人制サッカーは不採用となりました。日本でももっとこの競技が注目されることを願っております。そして、この競技が2024年のパラリンピックで再び採用されることを願っております。



図 4